



2月は自宅学習日や短縮授業が多く、そのぶん普段より時間があります。自分と向き合ったり、したいと思っていたことをしたりして、新学期を迎えるために身のまわりを整えたいものです。今月は話題作のほか、バレンタインにちなんだ本も選んでみました。号外にて、12月の創作コンクール入賞作品を紹介しています。活字を読む習慣をふだんからつけておきたいものです。

今月の新着図書 (2/5より貸出開始) 計8冊新しく入れました。

<p>■ 藍を継ぐ海 伊与原 新</p>  <p>第172回直木賞受賞作! 徳島の海辺の小さな町で、なんとかウミガメの卵を孵化させ、自分ひとりの力で育てようとする中学生の女の子の物語ほか全5篇。 科学だけが気づかせてくれる未来がある…。</p>	<p>■ 風に恋う 額賀 澤</p>  <p>かつては全国大会金賞、マスコミにも頻繁に取り上げられた、名門高校吹奏楽部。しかし、現在の部にかつての栄光は見る影もない。そこへ、黄金時代の部長だったレジェンドがコーチとして戻ってきて、あろうことか3年生たちを差し置いて、1年生を部長に指名する。</p>
<p>■ 地雷グリコ 青崎 有吾</p>  <p>ミステリ界の旗手が仕掛ける本格頭脳バトル! 平穏を望む女性が日常の中で巻き込まれる、風変わりなゲームの数々。罠の位置を読み合いながら階段を上ったり、百人一首の絵札を用いた神経衰弱に挑んだり…。</p>	<p>■ スロウハイツの神様(上)(下) 辻村 深月</p>  <p>人気作家チヨダ・コーキの小説で人が死んだ一あの事件から10年。アパート「スロウハイツ」で好きなことに没頭し、刺激し合っていた6人。空室だった201号室に、新たな住人がやってくるまでは。</p>
<p>■ 一度しかない人生を「どう生きるか」がわかる100年カレンダー 大住 力</p>  <p>もし今日が、あなたの最後の日であっても、後悔しないでしょか? 一度きりの人生のすべての時間を、思う存分生きつくしたと、心から言い切れるように生きるために、いま、何をすべきでしょうか?</p>	<p>■ アーモンド入りチョコレートのワルツ 森 絵都</p>  <p>十三・十四・十五歳。きらめく季節は静かに訪れ、ふいに終わる。シューマン、バッハ、サティ、三つのピアノ曲のやさしい調べにのせて、多感な少年少女の二度と戻らない「あのころ」を描く珠玉の短編集。</p>
<p>■ チョコレート コスモス 恩田 陸</p>  <p>無名劇団に現れた一人の少女。天性の勘で役を演じる飛鳥の才能は周囲を圧倒する。いっぽう若き女優響子は、とある舞台への出演を切望していた。開催された奇妙なオーディション、二つの才能がぶつかりあう!</p>	<p>■ 寝ながら学べる構造主義 内田 樹</p>  <p>なーんだ、そんなことだったのか! フーコー、バルト、ラカン、レヴィ=ストロースと聞いて、難しそうと尻ごみするのは無用。本書を一読すれば「そうかそうか」の連続です。</p>

《書影参照:版元ドットコム》

※ 借りるときには必ず、図書準備室側のテーブルにある「貸出台帳」に記入してください。

読みたい本が見つからないときは、気軽に相談してください。

